

忠臣蔵 花の巻 雪の巻 (1962)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 207分
初公開日 1962/11/03

【解説】

東宝によるオールスター時代劇。「どぶろくの辰」の八住利雄によるシナリオを元に、同作品でもメガホンをとった稲垣浩が監督した。撮影は「どぶろくの辰」の山田一夫、音楽は「秦・始皇帝」の伊福部昭。

「花の巻」一勅使饗応の大役を仰せつかった浅野内匠頭は、指南役である吉良上野介からの嫌がらせに耐えかね、殿中松の廊下で刃傷沙汰を起こしたことにより切腹、お家断絶となってしまう。残された赤穂藩の大石内蔵助は城を明け渡すことを決意。城内六十余名の血判を持って山科に移るのだった。「雪の巻」一赤穂の浪人たちは名前や職業を変えながら江戸に潜み、吉良方の動きを探り、復讐の機会をうかがっていた。そして討ち入り当日、残った四十数名は蕎麦屋の二階に集合した。

【クレジット】

監督	稲垣浩	
製作	藤本真澄	
	田中友幸	
	稲垣浩	
脚本	八住利雄	
撮影	山田一夫	
美術監督	伊藤憲朔	
美術	植田寛	
編集	岩下広一	
音楽	伊福部昭	
殺陣	久世竜	
助監督	丸輝夫	
	高瀬昌弘	
出演	松本幸四郎	大石内蔵助
	原節子	大石妻 りく
	加山雄三	浅野内匠頭
	司葉子	内匠頭妻 瑤泉院
	三船敏郎	Toshiro Mifune 俵星玄蕃
	三橋達也	Tatsuya Mihashi 堀部安兵衛
	宝田明	高田群兵衛
	夏木陽介	岡野金右衛門
	佐藤允	不破数右衛門
	市川団子	大石主税
	中村萬之助	萱野三平

市川染五郎		矢頭右衛門七
加東大介		寺崎吉右衛門
河津清三郎		吉田忠左衛門
市川中車		吉良上野介
志村喬		千坂兵部
小林桂樹		脇坂淡路守
池部良		土屋主税
森繁久彌		本陣主人・半兵衛
フランキー堺	Frankie Sakai	大工平五郎
新珠三千代		浮雲太夫
団令子		吉右衛門妹お軽
星由里子		平五郎妹お艶
池内淳子		水茶屋の女お文
淡路恵子	Keiko Awaji	半兵衛女房お時
沢村貞子		上野介妻・富子
草笛光子		戸田の局
水野久美		潮田の妹佐保
北川町子		御湯番おきよ
白川由美		吉良の間者うめ
藤山陽子		瑤泉院侍女みゆき
一の宮あつ子		久兵衛女房おとみ
中島そのみ		居酒屋の女お玉
中北千枝子		長屋の女房お筆
東郷晴子		笹屋内儀お京
浜美枝		赤穂の女
有島一郎		多聞伝八郎
久保明		伊達左京亮
江原達怡		浅野大学
太刀川寛		上杉綱憲
平田昭彦		岡島八十右衛門
小泉博		大高源吾
藤木悠		武林唯七
土屋嘉男		潮田又之丞
高島忠夫		間十次郎
市川段四郎		片岡源五右衛門
小杉義男		堀部弥兵衛
中村芝鶴		大野九郎兵衛
香川良介		原惣左衛門
清川荘司		藤井又左衛門
ヘンリー大川	Henry Okawa	間瀬久太夫
中村又五郎		将軍綱吉
山茶花究		柳沢出羽守
田崎潤		浪人 村上鬼剣
戸上城太郎		清水一角
中丸忠雄		小林平八郎

船戸順	浪人 貝塚三郎次
清水元	役人 荒賀源助
柳家金語楼	畳屋 音吉
藤原釜足	楠屋久兵衛
八波むと志	植木屋徳三
横山運平	平五郎の叔父
藤田進	梶川与惣兵衛
三木のり平	幫間 利兵衛
由利徹	のん太
南利明	伝八
市川高麗蔵	近松勘六
千葉一郎	柳原大納言
天本英世	高野中納言
伊藤久哉	大石瀬左衛門
山本廉	神崎与五郎
上原謙	清閑寺中納言